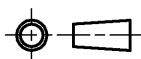


- 注1. 図中破線部分は現地工事区分を示します。
- 注2. 一点鎖線は制御箱境界を示します。
- 注3. ◎印は端子台、⊖印は中継コネクター、Ⓜは基板差込みコネクターを示します。
- 注4. 配線は、内線規程に従って接続してください。
- 注5. 電源には必ず漏電遮断器を設けてください。
- 注6. ファストン端子はロック機構付き端子です。
取り外す際は端子中央のつまみを押しながら取り外してください。
取付けた後は確実にロックがかかっていることを確認してください。
- 注7. 緊急停止入力は、端子台TBX(S1-S2間)の短絡線を外して、そこに緊急停止スイッチなどを配線接続してください。
- 注8. 遠方発停用アダプター(PAC-SE55RA)とM制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)は別売部品です。
・パルス発停用スイッチ：M制御遠方表示キットに接続してください。
・レベル発停用スイッチ：遠方発停用アダプターに接続してください。
- 注9. 制御基板(1,2)のSW1-5を使用用途に応じて設定してください。
送風機状態出力：SW1-5 OFF(工場出荷時設定)
サーモON状態出力：SW1-5 ON
- 注10. ルームサーモ仕様にてご使用の場合は、製品内蔵のTH21は機能しません。
別売温度センサー(PAC-SE40TS-W)を接続、または現地回路接続してください。
- 注11. 停電自動復帰させる場合は、制御基板(1,2)のSW1-9をON(有効)にしてください。
標準出荷時は、OFF(無効)となっています。
ただし、外部入力のレベル信号で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
- 注12. 各入力の接点は微小電流用(DC12V 1mA以下)を使用してください。
- 注13. 高静圧モーターを使用する場合は、インバーター基板のCNTYPにモーター識別抵抗を接続してください(インバーター基板1、2とも)。
また、制御基板(1,2)のSW3-2をOFF⇒ONにしてください。
モーター識別抵抗は、別売部品に付属しています。

記号説明

記 号	名 称	
C016～C018, C020	コンデンサー(インバーター主回路)	
CT-1, CT-2	電流センサー	
CN25	コネクター (制御基板)	加湿器
CN28		ファン異常
CN32		遠方切換
CN33		霜取運転時出力
CN41		HA入力
CN51		集中管理
CN52		遠方表示
CNP		暖房ヒーター用
DCL		直流リアクター(力率改善用)
L		チョークコイル(高周波ノイズ除去)
L1～L5	表示ランプ	
LCD	液晶表示器	
LEV	電子脚張弁	
R11	抵抗(突入電流防止)	
R、B、	リモートコントローラーボード	
SW1	スイッチ	機能切換
SW2	(制御基板)	能力設定
SW3		機能切換
SW4		機種設定
SW5		機能切換
SW7		機能切換
SW8		能力設定
SW11		アドレス設定用 1の位
SW12		アドレス設定用 10の位
SW14		分岐口No.、ペアNo.用
SWC		機能切換
SWE		ファン試運転用
T	電源トランス	
TB2	電源端子台	
TB5	伝送端子台	
TB15	MAリモコン用端子台	
TB21～TB23	入出力用端子台(別売M制御遠方表示キット)	
TBX(S1, S2)	緊急停止用端子台	
TBX(A1, A2, A3)	別売接続用端子台	
TH21	吸込み温度検出用サーミスター	
TH22	配管温度検出用サーミスター(液)	
TH23	配管温度検出用サーミスター(ガス)	
X1, X2	電磁継電器	インバーター基板用
X3, X4		制御基板用
X001～X003		インバーター主回路
Z26, Z27	機能設定素子	
Z28	モーター識別抵抗	

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

 DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE 床置ダクト形室内ユニット電気配線図 PFAV-XP450・560DMJ			
	2018-08-01	2018-08-08				
R 度 SCALE DO NOT SCALE	三菱電機株式会社			DWG.NO. W KQ94T840	REV. A	PAGE 2/2

PFAV-P・CM-E(-S)形、PFAV-(E)P・(V)DM-E形、PFAV-P・DM-E1形 PFAV-P・(V)DMJ1形、PFAV-XP・(V)DMJ形、PFAV-P・DME3形 カチオン電着塗装防食仕様説明書

適用: この仕様書は、次の環境条件に設備用パッケージエアコンを据付ける場合に適用します。

適用機種: PFAV-P140・(R)P224・280・450・560CM-E, PFAV-P560CM-E-S
PFAV-P140・(E)P224・280・450・560(V)DM-E, PFAV-P224・280・450・560DM-E1
PFAV-P80・140・224・280・450・560・670・800・1120・1400・1600(V)DMJ1
PFAV-XP224・280・450・560(V)DMJ, PFAV-P224・280・450・560DME3

適 用	目 的
1. 化学・薬品・機械加工工場 2. 工場、学校等の実験室で薬品を使用する場所 3. 都市公害地 (車の排ガスの影響のある場所) 4. 食品などを加工・貯蔵する場所	1. 熱交換器がアンモニア、硫化水素、塩水、有機酸(蟻酸/酢酸)、次亜塩素酸に浸されるのを防止 2. 銅管のろう付に用いたろう材のリンが浸されるのを防止

－留意事項－

防食仕様機を使用した場合でも腐食・発錆に対して万全でなく、設備用パッケージエアコンの設置やメンテナンスに対し、次の事項に留意願います。

- 据付時・メンテナンス時に付いた傷は、補修をしてください。
- 機器の状態を定期的に点検してください。
(必要に応じて再防錆処置や、部品交換等を実施してください。)

【室内ユニット】

部 品 名	素 材	標 準	防 食	表 面 処 理
パネル(前面・側面)	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	アクリル樹脂粉体焼付塗装
パネル(後面)	溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	クロメート被膜処理
空 気 側 熱 交 換 器 (フィン)	アルミニウム板	○		シリケート皮膜処理(標準処理済品)
			○	エポキシ樹脂塗装
空 気 側 熱 交 換 器 (ヘアピン管)	りん脱酸銅継目無管	○		素地のまま
			○	エポキシ樹脂塗装
ヘッド・Uヘッドろう付部	りん 銅 ろう	○		素地のまま
			○	エポキシ樹脂塗装
分 配 器	黄 銅	○		素地のまま
			○	エポキシ樹脂塗装
配管ろう付部	りん 銅 ろう	○		素地のまま
			○	エポキシ樹脂塗装
送 風 機(羽根)	ポリプロピレン樹脂	○	○	素地のまま (* 1)
	溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	クロメート被膜処理 (* 2)(* 3)
送風機(ケーシング)	溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	クロメート被膜処理
ドレンパン(冷却器用)	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	エポキシウレタン系エナメル樹脂 ノントールエポキシ樹脂塗装 (* 1)(* 2)
		○	○	ポリエステル樹脂粉体焼付塗装 (* 3)

注. 防食仕様のみの対応となります。

* 1: 適用機種 (標準仕様時) PFAV-P560CM-E以下, PFAV-P560(V)DM-E(1)以下, PFAV-RP280CM-E以下
PFAV-P560DME3以下

(公共建築工事標準仕様及び準拠仕様時)

PFAV-(R)P280CM-E以下, PFAV-(E)P280(V)DM-E, PFAV-P280DM-E1以下
PFAV-P280DME3以下

* 2: 適用機種 (標準仕様時) PFAV-P560CM-E-S, PFAV-EP450・560(V)DM-E, PFAV-RP450・560CM-E

(公共建築工事標準仕様及び準拠仕様時)

PFAV-(R)P450・560CM-E, PFAV-P560CM-E-S, PFAV-(E)P450・560(V)DM-E,
PFAV-P450・560DM-E1, PFAV-P450・560DME3

* 3: 適用機種 PFAV-P*** (V)DMJ1, PFAV-XP*** (V)DMJ

三菱電機株式会社	WYNB0-7514	作成日: 2009-09-15	副番: L
----------	------------	-----------------	-------